

# Cisco ATA 186 基本設定

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ATA 186 の設定](#)

[IP 接続のための初期セットアップ](#)

[VLAN を考慮した IP 接続問題のトラブルシューティング](#)

[IVR による Cisco ATA 186 の設定](#)

[Web サーバによる ATA 186 の設定](#)

[TFTP サーバによる ATA 186 の設定](#)

[パスワード保護](#)

[デバッグ収集のための Cisco ATA 186 の設定](#)

[ソフトウェアのアップグレード](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## [はじめに](#)

Cisco アナログ電話アダプタ (ATA) 186 は、通常のアナログ電話と IP ベースのテレフォニー ネットワークを接続する、ハンドセットとイーサネット間のアダプタです。Cisco ATA 186 には、従来のアナログ タッチトーン電話機をサポートするように設計された、2 個の音声ポートがあります。Cisco ATA 186 ではこれらのポートにディジットを送出できないため、通常の Foreign Exchange Station (FXS) ポートと異なり、これらのポートは PBX と接続できません。異なる電話番号が設定されていれば、両方の音声ポートを同時に使用できます。

このドキュメントでは、Cisco ATA 用 H.323/SIP/SCCP イメージを使用して Cisco ATA 186 の初期セットアップを行う場合の手順を示します。詳細については、「[関連情報](#)」を参照してください。